資料1-2　別紙3-2

資料所在確認調査 年度別計画

年度	対象区域	主な調査内容	主な成果	備考
令和8年度	旧岸部村域	調査対象リスト精査 調査手法・記録様式の確立 旧家・寺社・地域関係機関等への照会 リスト掲載所有者への確認	調査手法の確立 所在確認リスト更新 調査記録の蓄積 課題整理	調査初年度 調査手法の確立を重視
令和9年度	旧吹田村域	旧家・寺社・地域関係機関等への照会 リスト掲載所有者への確認	所在確認リスト更新 調査記録の蓄積	館報もしくはHP等で調査成果を報告
令和10年度	旧千里村域	旧家・寺社・地域関係機関等への照会 リスト掲載所有者への確認	所在確認リスト更新 調査記録の蓄積	館報もしくはHP等で調査成果を報告
令和11年度	旧豊津村域 旧山田村域 旧新田村域（下新田）	旧家・寺社・地域関係機関等への照会 リスト掲載所有者への確認 未確認箇所再調査 調査結果の整理・統合	資料所在確認済リスト 新たな市史編纂に向けた課題整理	総括段階 館報もしくはHP等で調査成果を報告

※『吹田市史』編纂時に使用された資料の所在状況を確認し、資料保存及び活用に資する基礎資料を整備することを目的とする。
※ 調査は旧町村単位で段階的に実施する。
※ 行政文書については関連範囲に限り段階的に把握する。